

1. K C J 主催コンテストが必要とするデータ

1.1 サマリー部

- | | |
|--------------|------------------------------------|
| a. CALL SIGN | 必須 (移動局は /x も必要、/QRP はなくても可) |
| b. 参加部門 | 必須 |
| c. 運用場所 | 必須 |
| d. 氏名 | 原則必須 |
| e. 連絡先 | 原則必須 (郵便番号・住所、電話、eMAIL アドレス) |
| f. コメント | 任意 (記載があれば会報に使用し掲載させていただきます) |
| g. 空中線電力 | QRP 部門の場合、空中線電力の記載が必須 |
| h. 運用者一覧 | マルチオペ部門は、運用者のCALL SIGN または氏名の記載が必須 |

※ d, e は連絡手段、郵送用のデータとして使用し、後述 3.1①では必須扱いとしています。

1.2 ログ部

- | | |
|------------------|--------------------------------|
| a. 交信日時 | 必須 |
| b. 交信BAND、MODE | 必須 |
| c. 交信局のCALL SIGN | 必須 |
| d. 交換ナンバー | 必須 (送信RST とMULTI、受信RST とMULTI) |
| e. 相手局CALL SIGN | SWL の場合に必須 |

2. 記入要領

K C J 主催コンテストはJARL 又はCABRILLO 様式の電子申請を推奨しています。

各々の記入要領を示しますが、何れもログ照合に必要な最小限の項目に留めています。

2.1 JARL 様式のサマリー部

- | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|
| a. <SUMMARYSHEET> | 任意 (形式的) |
| b. <CONTESTNAME> </CONTESTNAME> | 任意 (形式的) |
| c. <CATEGORYCODE> </CATEGORYCODE> | 必須 (コードは別表 1 を参照。CATEGORYNMAE でも可) |
| d. <CALLSIGN> </CALLSIGN> | 必須 (移動局は /x が必要、/QRP はなくても可) |
| e. <NAME> </NAME> | 原則必須 |
| f. <OPPLACE> </OPPLACE> | 必須 (別表 2 のコード記載を推奨) |
| g. <POWER> </POWER> | QRP 部門の場合、空中線電力の記載が必須 |
| h. <OPELIST> </OPELIST> | マルチオペ部門は、CALL 若しくは氏名記載が必須 |
| i. <ADDRESS> </ADDRESS> | 原則必須 (郵便番号を含む) |
| j. <TEL> </TEL> | 原則必須 |
| k. <EMAIL> </EMAIL> | 原則必須 |
| l. <COMMENTS> </COMMENTS> | 任意 (記載があれば会報に掲載させていただきます) |

- m. </SUMMARYSHEET> 任意（形式的）
- n. <LOGSHEET> 任意（形式的）
- o. ログデータ 詳細は2.2項を参照
- p. </LOGSHEET> 任意（形式的）

※ その他の項目は参照していないので記載は任意です。

※ c, d, f, g, j, k は半角文字で記載して下さい。

2.2 JARL 様式のログ部

タイトル行は任意（DATE TIME BAND MODE CALLSIGN SENT No RCVD No MIt Pts 等）

ログデータの記載例：2020-02-08 21:14 1.9 CW JA1ABC 599 TK 599 ST

- a. 記載項目の順序は上記タイトルの例に従って下さい。各項目間に空白またはTAB を入れます。項目ごとの位置指定はありません（下記例のように不揃いでも可）。

2020-02-08 21:14 1.9 CW JA1ABC/1 599 TK 599 ST

2020-02-08 21:14 1.9 CW JA1AB 599 TK 599 ST

- b. 時刻は全てJST で記載されているものとしています。

一部若しくは全てをUTC で記載する場合は、該当ログの時刻に「Z」又は「U」を付記して下さい。

2020-02-08 21:14Z 1.9 CW JA1ABC 599 TK 599 ST

- c. BAND はBAND 区分を記載。

- d. 受信MULTI が取れなかった時は、「--」または「？」等の記載を推奨します。

- e. MIt, Pts の記載は任意。（DUPログの扱いは4.1を参照して下さい）

- f. SWL の相手局はCALLSIGN の後に記載を推奨。

※ ログは全て半角文字で記載して下さい。

※ シングルバンド部門は部門外ログの記載も必要です。申請部門外ログはチェックログで扱います。

2.3 CABRILLO 様式のサマリ一部

記入する値は、若干変則的になりますのでご注意下さい。

- a. START-OF-LOG: 任意（形式的）
- b. CONTEST: 任意（形式的）
- c. CALLSIGN: 必須（移動局は /x も必要、/QRP はなくても可）
- d. CATEGORY: 必須（別表1の部門コードを記載）
CATEGORY-OPERATOR、CATEGORY-BANDの記載でも可
- e. CATEGORY-POWER: QRP 部門は「QRP」ではなく空中線電力の記載が必要です
- f. LOCATION: 必須（別表2のコードを記載）
- g. OPERATORS: マルチオペ部門は、CALL 若しくは氏名の記載が必須
- h. NAME: 原則必須（漢字の記載を推奨）
- i. EMAIL: 原則必須
- j. ADDRESS-POSTALCODE: 原則必須（郵便番号）
ADDRESS: （漢字の記載を推奨）
- k. SOAPBOX: 任意（記載があれば会報に掲載させていただきます）
- l. ログデータ 詳細は2.4項を参照
- m. END-OF-LOG: 任意（形式的）

※ その他の項目は参照していないので記載は任意です。

※ c, d, e, f, i は半角文字で記載して下さい。

2.4 CABRILLO 様式のログ部

ログデータの例 : QSO: 1911 CW 2020-02-08 1214 JA1ABC 599 TK JA1XYZ 599 ST

- a. 各項目間に空白またはTAB を入れます。項目毎の位置指定はありません。
- b. CABRILLO は周波数記載が標準です（1900 等、後方をゼロにしてBAND が分かる記載で可）
- c. 時刻はhhmm 式で「:」を入れず、全てUTC で記載されているものとしています。
一部若しくは全てをJST で記載する場合は、該当ログの時刻に「J」を付記して下さい。
QSO: 1911 CW 2020-02-08 1214J JA1ABC 599 TK JA1XYZ 599 ST
- d. 受信MULTI が取れなかった時は、「--」または「?」等の記載を推奨します。
- e. 交尾のTRASMITTER 番号は省略可能です。
- f. SWL の相手局は最後尾に記載することを推奨。

※ ログは全て半角文字で記載して下さい。

※ シングルバンド部門は部門外ログの記載も必要です。参加部門外ログはチェックログで扱います。

2.5 推奨様式以外の場合

サマリー部は 1.1 を参考に必要なデータが識別可能になるよう留意して記載して下さい。

ログ部は 1.2 を参考に必要項目を記載して下さい。時刻はJARL 様式の解釈（基本JST）を適用します。

シングルバンド部門は部門外ログの記載も必要です。部門以外のログはチェックログで扱います。

3. ログの提出

3.1 提出要領

ログの提出方法は、推奨順に ①KCJ ホームページを使用、②電子メールでの提出、③ログの郵送になります。メールアドレス、郵送先はコンテスト規約をご確認下さい。

① KCJ ホームページを使用

受付期間中、KCJ ホームページ <https://kcj-cw.com> の「コンテスト」の下にログ受付メニューを表示するので画面の指示に従って操作して下さい。

② 電子メールでの提出

メールの表題に提出局のコールサインのみ記入し、コンテスト規約の送付先へ送信してください。サマリー項目とログデータはファイル添付（複数ファイルは不可、一つのファイルに纏めること）も可能ですが、テキスト文字でメールの本文中に記載することを推奨します。

③ ログの郵送

郵送先は、コンテスト規約を確認してください。

提出期限日必着です。電子媒体の送付も可能ですが、媒体は返却いたしません。

3.2 再提出時の注意事項

再提出した場合は最後の申請データを採用し、全ログを差し替えますので全てのログを送って下さい。

電子メールの場合は、メールの標題に「再提出」等の文言は書かずに 3.1②の要領で再送して下さい。

一回目はメール、二回目以降はホームページ等のように、提出方法が異なっても差支えありません。

4. その他

コンテストに関するお問合せ、ご意見（クレームを含む）等は全て、KCJ WEB サイトで承りますので

<https://kcj-cw.com> で表示する画面の左下「意見・質問」でお願いします。

4. 1 DUPログの扱いについて

JARL様式ではPnt項があるので、DUPログはPntをゼロで記載することをお勧めします。

例：A局とB局の交信ログ事例と照合処理

A局のログ ログ1：B局と11時に交信しログ記載
 ログ2：B局と12時に交信しP0でログ記載

B局のログ ——— A局との11時の交信は何らかの事由でログ無し
 ログ3：A局と12時に交信しログ記載

照合処理では、ログ2とログ3がマッチするので、ログ2とログ3を有効ログとして処理します。

その際、ログ1はNF扱いとなり、ログ2はP0であっても通常ポイントで加算対象とします。

A局がログ2をDUPと認識し、申請から除外した場合は、ログ1とログ3はNFとなりポイントになりません。但し、ログ1とログ3の時間差が10分以内なら有効。

このようにDUPをP0で記載しておくことで、SCORE UPに繋がる場合があります。

<別表1>部門コードと部門名		TOP BAND の場合
CA	シングルオペ マルチバンド部門	--
CP	シングルオペ マルチバンドQRP 部門	シングルオペQRP 部門
C19	シングルオペ 1.9MHz シングルバンド部門	シングルオペ部門
C35	シングルオペ 3.5MHz シングルバンド部門	--
C7	シングルオペ 7MHz シングルバンド部門	--
C14	シングルオペ 14MHz シングルバンド部門	--
C21	シングルオペ 21MHz シングルバンド部門	--
C28	シングルオペ 28MHz シングルバンド部門	--
C50	シングルオペ 50MHz シングルバンド部門	--
CM	マルチオペ マルチバンド部門	マルチオペ部門
SWL	SWL マルチバンド部門	SWL 部門
DX	国外局マルチバンド部門	国外局部門
CL	チェックログ(チェックログは部門ではないがチェックログ提出局用に設定しています)	

注1：シングルオペはコンテストに関するすべての操作を一人で行うこと。

注2：個人局のゲスト運用はマルチオペ部門とする。

注3：チェックログは部門ではないがコードを記載すること。

注4：QRP は空中線電力5W 以下とし、ATT やPower Control 等の低減措置による実測値も可とする。

<別表2>都府県と地域名およびKCJ コードの一覧

宗谷 SY	留萌 RM	上川 KK	林-ツク OH	空知 SC	石狩 IS	根室 NM
後志 SB	十勝 TC	釧路 KR	日高 HD	胆振 IR	檜山 HY	渡島 OM
青森 AM	岩手 IT	秋田 AT	山形 YM	宮城 MG	福島 FS	新潟 NI
長野 NN	東京 TK	神奈川KN	千葉 CB	埼玉 ST	茨城 IB	栃木 TG
群馬 GM	山梨 YN	静岡 SO	岐阜 GF	愛知 AC	三重 ME	京都 KT
滋賀 SI	奈良 NR	大阪 OS	和歌山WK	兵庫 HG	富山 TY	福井 FI

石川 IK 岡山 OY 島根 SN 山口 YG 鳥取 TT 広島 HS 香川 KA
徳島 TS 愛媛 EH 高知 KC 福岡 FO 佐賀 SG 長崎 NS 熊本 KM
大分 OT 宮崎 MZ 鹿児島KG 沖縄 ON 小笠原OG 南鳥島MT
~~国外 Asia AS Oceania OC Europe EU N. America NA S. America SA Africa AF~~
2021年8月以降、国外局のマルチはCQ zone番号になり、大陸略称は使用しません。

<別表 3>照合結果コードの意味

IM : 相手のコールサインをミスコピー	UM : 相手が貴方のコールサインをミスコピー
RR : 相手の送ってきたRST をミスコピー	RS : 相手が貴方の送ったRST をミスコピー
MR : 相手が送ってきたマルチをミスコピー	MS : 相手が貴方の送ったマルチをミスコピー
NF : 相手のログに貴方のコールサインがない	TM : 双方の時刻に±10 分以上の時刻差がある
WC : DUPE QSO	NL : 相手のログが提出されていない
OF : 双方のバンドが不一致になっている	GL : チェックログ (PNT=0 を含む)